

権利って何 一身のまわりの人権を考えるー

ねらい

- 誰もがさまざまな権利が保障されていることを知る。
- 自分の権利だけでなく、お互いの権利を尊重しあい、生活していくことの大切さに気づく。
- 人権擁護委員との出会いを通して、その活動内容を知り、人権を守るために活動されている姿に共感する。

対象

- 小学校高学年

指導計画

- 権利とは何か考える。
- 「こんなのいやだチェック」をおこなう。
- 子どもの権利条約を読む。
- 自分たちのクラスで大切にしたい権利について話し合う。
- 人権擁護委員の話聞き、身のまわりの人権について考える。

展開例

学習内容	指導上の留意点
<ul style="list-style-type: none"> ・権利とは何かを考える。 ・生きていくために最低限必要な権利について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要だと思う理由を大切にし、友だちにしっかりと説明できるように支援する。 ・義務を果たし、努力をして手に入れていくものであり、権利だけにたよらず、努力していくことの大切さにもふれる。
<ul style="list-style-type: none"> ・「こんなのいやだチェック」をすすめる。 ・各項目ごとに意見を出し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どのような状況のときにいやだと感じるか、自分なりの考えを持つことができるように支援する。

<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの権利を守っていくために、「子どもの権利条約」があることを理解する。 ・前時に「こんなのいやだチェック」をした内容は、どの条文と関連があるかを考える。 ・条約で守られているのに、なぜ権利の侵害がおこるのかを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの生活と深い関わりのある条文を選んで資料を作成する。 ・条約ができた経緯を説明する。 ・いやだと思ったことは、どんな権利を侵害していることになるのかを考える。 ・権利は自分たちだけが持っているのではなく、まわりの人々も同じように持っている。お互いの権利を大事にしていく気持ちが大切だということに気づかせる。
<ul style="list-style-type: none"> ・学級の中の権利について考える。 ・学級に必要なことをその理由とともに考え、それを発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・普段学級の中で、気になることや困っていることなどが出てくるように、子どもの意見を引き出す。
<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちのまわりで、人権を守るために、働いている人はいないか考える。 ・人権擁護委員について紹介する。 ・人権擁護委員の方を教室に招き、仕事内容について話を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・聞き取りを通して、人権擁護委員の仕事の内容について理解させ、擁護委員の生き方に共感させるとともに、人権を守ることの大切さについて考えさせる。

教材 ○「こんなのいやだチェック」奈良県人権教育研究会編、4頁。
○「子どもの権利条約カード」大阪府同和教育研究協議会編 286-287頁。